

令和5年7月市長定例記者会見

日時：令和5年7月5日（水） 午後1時30分～

場所：射水市役所会議室302

報道出席者：北日本新聞、富山新聞、北陸中日新聞、読売新聞、北日本放送、
富山テレビ放送、射水CATV、ホットライン小杉

当局出席者：市長、企画管理部長、財務管理部長、企画管理部次長、
資産経営課長、市民活躍・文化課長

○質疑応答の概要

Q1. 前回の市長タウンミーティングの日時、回数、参加人数を教えてください。

A1. 前回は、令和3年度に実施した。今年度にスタートした第3次射水市総合計画の策定に向け、本市のまちづくりについて市民の皆様のご意見をいただくため開催した。

前回の実績は、8月9日、10日、11日の3日間開催し、1会場につき約60名、合わせて170名ほどの方に参加していただいた。実際の説明は、CATVで放映していただいた。

Q2. 今回のタウンミーティングは策定後ということで、市民の方がどれくらい関心を寄せているか、市の未来ということもあり、どこに力を入れて説明していきたいと考えているか。

A2. 前回は、市民の皆様へのまちづくりに対する思い、要望を聞かせていただき、それを踏まえて総合計画を策定させていただいた。今回は、実際に策定した総合計画について説明していく。

新しい考え方としては、関係人口を増やすという目標を掲げた。関係人口がどのようなものかを含めて、市民の皆様に説明していきたい。

また、県も掲げているウェルビーイングの考え方を踏まえ、市民の幸せをしっかりと見つめていき、市の今後のまちづくりや施策を考えていくということも情報共有していきたい。

その他にも、最近の新しいまちづくりに関する社会的ニーズであるゼロカーボン、ニューノーマルへの対応、今までも取り組んできたDXにつ

いても積極的に取り組んでいくように総合計画に盛り込んだ。新しい考え方・取り組みについて市民の方に説明し、考え方を共有して力を合わせてこれからのまちづくりに取り組んでいきたい。

Q 3. 若い世代にタウンミーティングへ参加してもらうための工夫はあるか。

A 3. 幅広い世代、特に若い世代にも参加していただけるように CATV や YouTube の配信で情報を入手していただけるようにしている。

具体的な働きかけとしては、市内団体の商工会議所青年部、商工会青年部、青年会長などに案内をするということもできればよいと考えている。学生など、さらに若い世代となると考える必要がある。

Q 4. 「いみずキャリアステップ応援塾」の前回の実績を教えてください。

A 4. 前回は、市内 16 企業から 25 名の方に受講いただいた。今回と同様に全 5 回の開催内容だった。参加者 25 名にアンケートしたところ、16 名から回答をいただいた。全 5 回を通して 16 名全員が内容に満足されていた。今後の業務に生かせるスキルを学べたことや、グループワークを通して他の塾生と様々な意見交換ができたことが満足した理由として挙げられていた。

Q 5. 富山新港花火大会の有料席の収容可能人数はどのくらいか。

A 5. 1 テーブル 4 名、計 20 テーブルを設けることとしており、最大 80 名が利用できる。

Q 6. 有料観覧席を設けた目的や理由はあるのか。

A 6. 花火を特等席で見いただくことで、付加価値を高め、特別な経験をしていただく機会をつくろうという思いから、屋上エリアを開放することとした。

Q 7. 公共施設の民間提案は今年で 2 年目という認識で合っているか。

A 7. そのとおりである。内容は昨年度も同様で、公共施設、公園、未利用市有地（300㎡以上）を対象に自由に意見を募集した。

昨年度は、12件の提案があった。詳細協議を実施していく中で、今年度事業化に至ったものが7件、詳細協議を継続中であるものが3件、事業の採算が合わない等の理由で実施困難と判断したものは2件だった。実用化される内容は、公共施設の電気のLED化や、民間開放している学校体育館へのスマートロックの導入などである。市内小中学校の体育館を開放する際の鍵をスマートロック（電子錠）化することで、鍵の受け渡しをする必要がないというものである。

詳細協議中の3件は、大島中央公園でのベーカリーカフェの開催、市営駐車場の運営などである。

Q 8. 民間提案制度の昨年度の実績を踏まえて、今年度への期待や思いを教えてください。

A 8. 昨年度は初めてということもあり、どのような提案があるか期待していた。実際に12件も提案していただき、喜ばしかった。内容としては、電球のLED化や太陽光発電などハード事業の提案が多かった。今年度は、昨年度提案が無かった未利用スペース、未利用地を活用したソフト事業の提案があれば良いと考えている。